

タイトル

動的に問題を生成する日本語学習支援システム

Computer-Assisted Japanese Learning System

概要

外国語学習者に対して、音声言語処理技術により自動的に発音や語彙・文法をチェックする方式の研究を進めている。特に、日本語を学習する留学生を想定して、日本語能力検定3級・4級レベルの語彙・文法をカバーする文を、タイプ入力・音声入力両方で練習できるソフトウェアを開発している。本ソフトウェアは無償で公開する予定である。



URL

産業界への展開例・適用分野

- ・ 留学生の日本語学習支援

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職 (学年)
展示担当者	王 洪翠 (Wang Hongcui)	学術情報メディアセンター	河原研究室	研究員
	河原 達也	学術情報メディアセンター	河原研究室	教授